

Mini Disclosure

2026年 3月期

第152期 ミニディスクロージャー誌

営業のご報告

2025年4月1日から2026年3月31日まで



静岡中央銀行



お客様・地域社会と共に発展し ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して

皆さまには、平素より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当行は1926年、伊豆無尽株式会社として設立し、おかげさまで2026年11月12日をもって、創立100周年という大きな節目を迎えます。

これもひとえに、お取引先のお客様、地域の皆さま、株主の皆さまの温かいご支援の賜物であり、役職員一同、心より御礼申し上げます。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2026年3月期ミニディスクロージャー誌「第152期営業のご報告」を作成しましたので、ご一読いただければ幸いと存じます。

当行は、2026年4月より2年間を計画期間とする第16次中期経営計画「深化Ⅲ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、「お客様中心主義の実践」「営業改革の実践」「業務改革の実践」「人事戦略の実践」「経営基盤の強化」の5つの基本戦略を実現し、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。

今後も、「堅実で健全な経営」という経営理念のもと、安定した経営基盤を維持し、お客様と地域の持続的成長と発展に向け、誠心誠意取り組んでまいりますので、皆さまにおかれましては、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月



取締役社長

小森 博史

取締役会長

清野 真司

当行の概要

- 名 称 株式会社静岡中央銀行
- 本店所在地 沼津市大手町4丁目76番地
- 設 立 1926年(大正15年)11月12日
- 資 本 金 20億円
- 店 舗 数 43店舗(うち出張所5)
- 従 業 員 数 436人

(2026年3月31日現在)

目 次

- ごあいさつ・当行の概要……………1
- 第16次中期経営計画……………2
- 業績ハイライト……………3
- 地域の皆さまと共に……………5
- 連結財務諸表……………11
- 単体財務諸表……………12
- 株式/役員/連結子会社の状況 ……13
- 店舗のご案内……………14

- 当行は、2026年4月より第16次中期経営計画「深化Ⅲ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた、新たな施策にも積極的に取り組むことで「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。

第16次中期経営計画

深化Ⅲ 持続的成長に向けた挑戦

期間／2026年4月～2028年3月(2年間)

経営理念

堅実で健全な経営

目指す銀行像

お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行

基本方針

お客様中心主義の深化

“ビジネスモデル＝訪問頻度管理”を深化させ、
お客様と地域に寄り添って
ニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

行動指針

Passion(熱意) & Team support(チーム対応)

5つの基本戦略

I お客様中心主義の実践

1. 信頼される行動の実践
2. 3つのCCの実践
3. お客様ニーズや課題に応える(解決する)行動の実践

II 営業改革の実践

1. 訪問頻度管理のステップアップ
2. 地域企業の価値向上と地域活性化への貢献
3. 預貸併進と真のメイン先の増加

III 業務改革の実践

1. 生産性向上と効率化に向けた業務改革
2. 経営資源の最適化とサステナビリティへの取組み
3. 店舗戦略

IV 人事戦略の実践

1. 人事制度改革の実践。採用体制の強化と多様化
2. 人的資本の充実、多様な人材の登用と活躍機会の拡大
3. 従業員のエンゲージメント向上による活力アップ

V 経営基盤の強化

1. 基礎的利益の持続的拡大
2. 安定的な有価証券収益の確保
3. 持続的かつ健全な経営管理態勢の強化
(創立100周年と次を見据えた対応)

用語解説

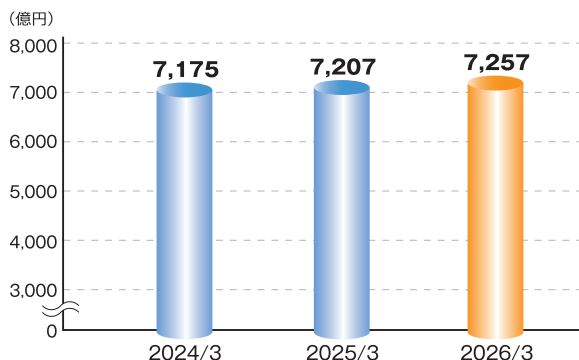
「CC」とは？

Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。
「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

■預金残高（平均残高）

～年間増加率0.7%～

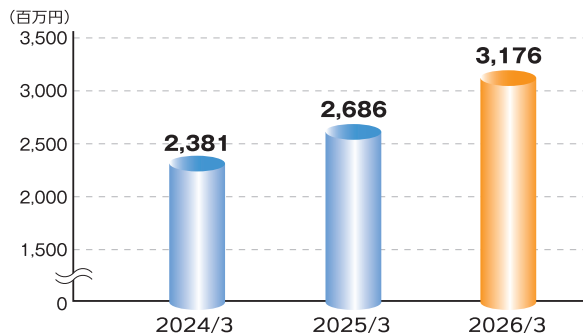
お客様のニーズやライフステージに応じたさまざまな金融商品・サービスの提供に努める等、お客様にメインバンクとしてご利用いただくことを目指して積極的な営業活動を展開したことにより、預金平残は前期末比50億円0.7%増加の7,257億円となりました。



■当期純利益

～5年連続の増益～

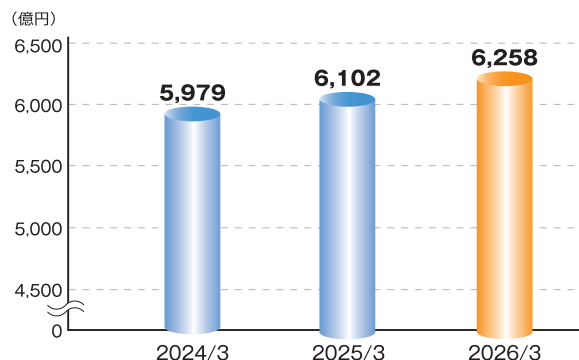
資金運用収益等が堅調に推移したことにより、当期純利益は前期比4億89百万円18.2%増益の31億76百万円となりました。



■貸出金残高（平均残高）

～年間増加率2.5%～

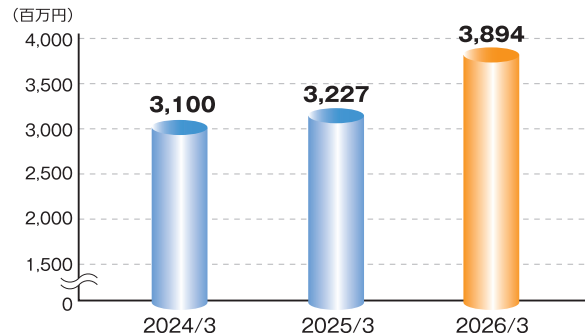
定期的な顧客訪問によって、お客様の経営課題の解決に向けた支援等に積極的に取り組むなど、金融仲介機能の発揮に努めたことにより、貸出金平残は前期末比156億円2.5%増加の6,258億円となりました。



■コア業務純益（除く投資信託解約損益）

～本業利益は着実に増加～

預貸金利益が増加するなど本業が堅調に推移したこと等により、本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は前期比6億66百万円20.6%増益の38億94百万円と堅調に推移しております。

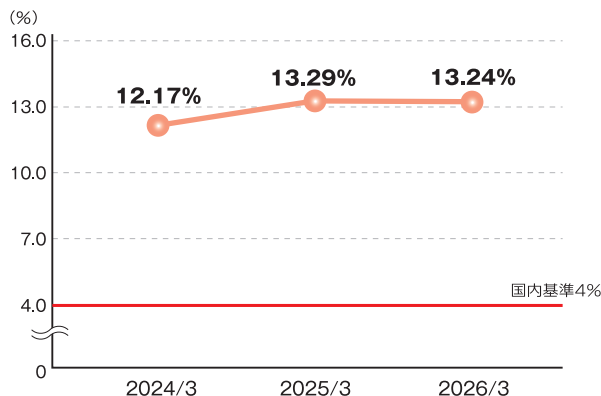


■自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は13.24%と国内基準4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。

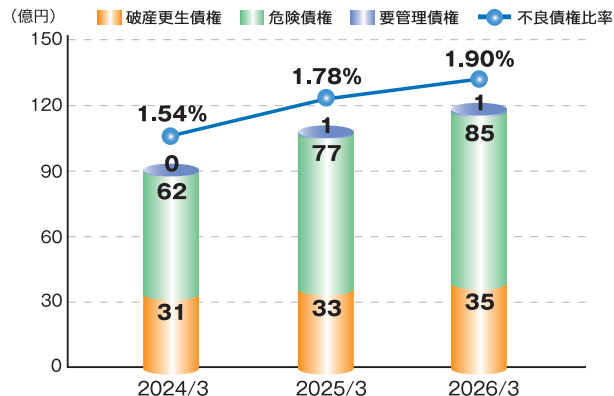
※2025年3月末より、バーゼルⅢ最終化を適用しております。



■不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

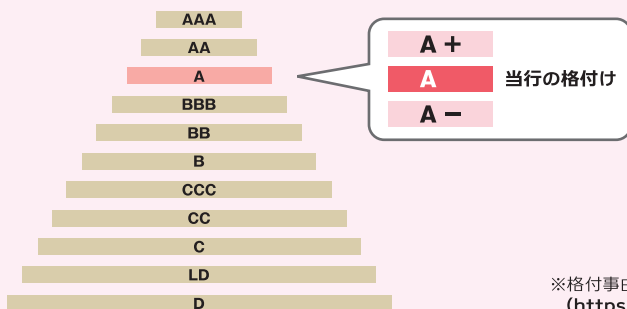
金融再生法開示債権およびリスク管理債権は122億11百万円となり、総与信残高に占める割合は1.90%となりました。なお、同債権の87.0%を担保等でカバーしており、高い健全性を維持しております。



■株式会社日本格付研究所（JCR）の格付継続取得について

当行は2026年4月、株式会社日本格付研究所（JCR）から、長期発行体格付「A」（シングルA）を継続取得いたしました。

中立的な第三者機関から客観的な評価を取得することにより、株主、取引先をはじめとしたステークホルダーの皆さまに財務内容の健全性を広くご理解いただくとともに、経営の透明性と対外的な信用力を高め、持続的成長に向けた経営基盤の拡大を図ることを目的としています。



◇格付の内容

- 長期発行体格付 A（シングルA）【据置】
格付の見通し 安定的 【据置】
- 格付機関
株式会社日本格付研究所（JCR）
- 格付公表日
2026年4月27日

※格付事由等の詳細につきましては、株式会社日本格付研究所ホームページ（<https://www.jcr.co.jp>）をご参照ください。

創立100周年記念事業の展開

「100周年記念サイト」の開設

当行は、2026年11月12日に創立100周年を迎えるにあたり、当行ホームページ内に「100周年記念サイト」を開設いたしました。

本サイトを通じて、これまで当行を支えてくださった皆さまへの感謝をお伝えすると共に、記念事業に関する取り組みや当行の歴史を、写真などを交えて紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

100周年記念サイトURL ▶ <https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/100th-anniversary/>



100周年記念サイト



こちらのQRコードより
ご覧ください。

「しずちゅうプレ100周年記念定期預金」の販売

当行では、創立100周年を迎えるにあたり、お客様への感謝の気持ちを込めて2025年11月より、「しずちゅうプレ100周年記念定期預金」を期間限定で販売いたしました。

当行では、今後ともお客様に寄り添い、共に成長することで、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

【第2弾】「しずちゅうプレII 100周年記念定期預金」販売中
2026年7月31日（金）まで

※販売総額に達した場合、上記販売期間中でも新規申込みの受付を終了いたします。

地域密着型金融の推進

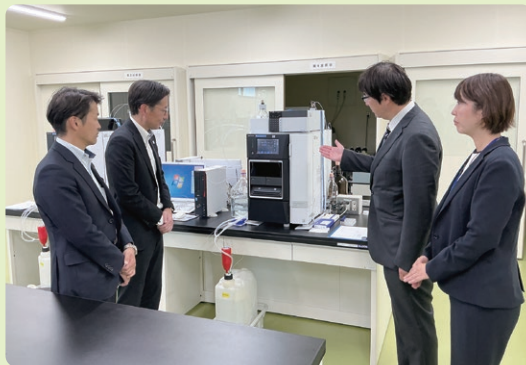
●地域企業の価値向上に向けた取組み

事業性評価を踏まえた地域金融力の発揮

当行では、「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を通じ、地域のお客様の、強みや経営上の課題等を丁寧に把握し、行内の専門部または知見のある外部専門機関等との連携によって有効な支援や情報提供に努めております。

今後も「本業支援ヒアリングシート」※を基に、お客様とより深度のある対話を重ね、経営戦略やビジネスモデル等を踏まえた真の課題を見極め、迅速かつ適切に金融・非金融の仲介機能を発揮し、お客様の持続可能性の向上に貢献してまいります。

※取引先の事業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



撮影協力：東洋カプセル株式会社

外部専門機関との連携強化 ～専門的ニーズに積極的に対応～

当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・DXへの取組み等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

また、業務提携先・業務提携分野も順次拡大しており、2025年度は新たに17社の外部専門機関と業務提携契約を締結いたしました（2026年3月31日現在 95社と業務提携）。

今後も、地域金融機関としての役割を果たせるよう、お客様の課題解決のサポートに積極的に取り組んでまいります。

提携分野

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 相続・事業継承・M&A | ⑥ リース関連 |
| ② 補助金申請 | ⑦ システム導入関連 |
| ③ 人材紹介 | ⑧ 節税関連 |
| ④ 建設・不動産関係 | ⑨ 企業支援・コンサル関連 |
| ⑤ 販路開拓 | ⑩ 経費削減関連 他 |



撮影協力：東洋カプセル株式会社

地域密着型金融の推進

●お客様に喜ばれる商品・サービスの提供

「お買い物券付定期預金」による地域貢献

2007年12月より、地域の面的支援として、地元商店街やショッピングセンター等で利用できる「お買い物券」を預入額に応じてプレゼントする「お買い物券付定期預金」の販売を開始いたしました。

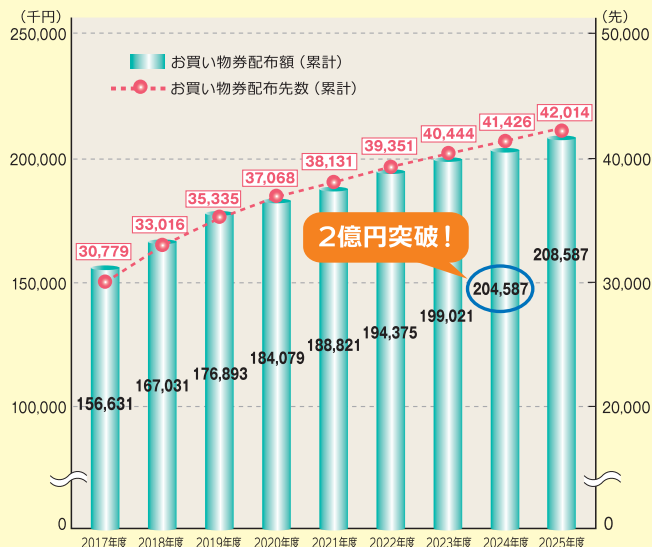
2025年度は、計7回（7地区）実施しました。

今後も、お客様のニーズに合った商品・サービスの提供を通じて、地域社会の発展に貢献してまいります。

「お買い物券付定期預金実績(累計)」

(2007年12月～2026年3月)

- 実施回数：214回(21地区)
- お買い物券配布先数：延4万2千名
- お買い物券配布額：約2億円



新たなバンキングアプリの導入決定

当行では、マネーフォワードエックス株式会社（代表取締役社長 CEO 本川 大輔）と共に、新たなバンキングアプリを開発し、2026年冬頃にサービス提供を開始することといたしました。

新たなバンキングアプリでは、個人のお客様の「投資信託やローン等の残高や明細の照会」に加え、「普通預金の口座開設」の機能を提供いたします。

今回の導入では、お客様からご要望の多かった機能を中心にサービス提供を開始いたします。

今後も、お客様の生活をより便利にするために、機能の拡充とサービスの充実に継続して取り組み、お客様の利便性向上を図っていく予定です。



●地域に根差した地域貢献活動の取り組み

沼津市「ながら見守り活動」への参加

当行では、2025年12月より、沼津市の「ながら見守り活動」へ参加しております。

沼津市内の4拠点（本部含む）にて、社用車に「防犯パトロール実施中」のマグネットを貼り付け、車両での移動中や業務中に、防犯の観点で街の様子に気を配り、普段とは違う様子など何か気付いたときには、速やかに警察と連携いたします。

当行は、本活動を通じて、犯罪が起きにくく、安心で安全な社会づくりに貢献してまいります。



「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」開催

当行では、2012年より学童の心身の健全な育成支援のため、「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」（「静岡県野球連盟」主催）に特別協賛しております。

2025年度は、「第13回」大会を開催し、3日間にわたる熱戦が繰り広げられました。

第14回しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会
会期：2026年6月6日・7日・13日・14日
会場：西ヶ谷総合運動場（野球場）他



第13回大会優勝チーム 富士根南エコーズ

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評をいただいております。

また、2011年5月より“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介し、地域活性化を目的として、当行のカレンダーに使用する富士山の写真を募集するフォトコンテストを開催しております。

2027年カレンダー分
2026年7月31日（金）まで募集中



サステナビリティへの取り組み

2023年4月に「サステナビリティ方針」を策定し、当行のサステナビリティに対する基本的な考え方を明示いたしました。本方針に則り、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ方針

静岡中央銀行は、経営理念「堅実で健全な経営」に基づく企業活動を通じて、気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に取組み、地域経済の発展と当行の企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●SDGsへの取り組み

静岡中央銀行SDGs宣言

静岡中央銀行は、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、企業活動を通じて地域の課題解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

重点取組方針

【地域経済の持続的発展への貢献】

お客様のベストパートナーとして、金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

【多様な人材の活躍】

すべての役職員が活躍できるよう、環境整備、人材育成に取り組んでまいります。

【地域の環境保全】

お客様の環境保全に向けた取組みを支援し、自らも環境負荷低減に向けた取組みを推進してまいります。

対応するSDGs目標

【地域経済の持続的発展への貢献】



【多様な人材の活躍】



【地域の環境保全】



●気候変動への対応

TCFD提言への取組み

2022年7月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言」への賛同を表明し、気候変動・環境課題への取組み・開示内容の充実を図ってまいります。また、持続可能な地域社会の実現に向けた取組みを加速させるため、環境課題等の解決につながる投融資の目標を掲げ、積極的に取り組んでいます。

■CO2 排出量削減

定 義	Scope1およびScope2※1に該当するCO2排出量
目 標	（中間目標）2030年度までに2013年度比▲46% 2035年度までに2013年度比▲60% 2040年度までに2013年度比▲73% （最終目標）2050年度までにカーボンニュートラル実現
実 績	2025年度実績 2013年度比▲13.0%

※1

Scope1：（直接排出）車両によるガソリン使用、ガスの使用

Scope2：（間接排出）電気の使用

■サステナブル関連投融資

定 義	気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に向けた取組みを支援・促進する投融資
目 標	2023年度から2030年度までに500億円
実 績	2023年度から2025年度までの実績 428億円（2025年度実績：200億円）

●多様な人材の活躍推進

人権尊重・ハラスメント防止への対応

当行では、近年社会的課題とされている「採用活動におけるハラスメント」や「カスタマーハラスメント」への対応として、「採用活動におけるハラスメント防止指針」および「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を制定しました。

求職者や当行従業員の人格、尊厳等を尊重し、公正かつ適切な対応ができるよう、社内態勢を整備しております。

当行に関わる全ての皆様へ心理的安全性の高い環境を確保することで、当行の企業価値を高め、お客様に対してより質の高い金融サービスの提供ができるよう努めてまいります。

第152期連結貸借対照表
(2026年3月31日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	83,839
有価証券	149,539
貸出金	639,335
その他資産	4,173
有形固定資産	9,693
無形固定資産	712
退職給付に係る資産	200
支払承諾見返	1,314
貸倒引当金	△3,854
資産の部合計	884,952
負債の部	
預金	741,005
借入金	48,800
その他負債	6,963
賞与引当金	378
役員賞与引当金	54
役員退職慰労引当金	846
偶発損失引当金	349
繰延税金負債	5,546
再評価に係る繰延税金負債	1,348
支払承諾	1,314
負債の部合計	806,606
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	55,579
株主資本合計	57,580
その他有価証券評価差額金	17,593
土地再評価差額金	3,036
退職給付に係る調整累計額	135
その他の包括利益累計額合計	20,765
純資産の部合計	78,346
負債及び純資産の部合計	884,952

第152期連結損益計算書
(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	16,416
資金運用収益	13,984
（うち貸出金利息）	10,633
（うち有価証券利息配当金）	2,996
役務取引等収益	1,504
その他業務収益	—
その他経常収益	927
経常費用	11,781
資金調達費用	2,181
（うち預金利息）	2,129
役務取引等費用	1,513
その他業務費用	195
営業経費	7,481
その他経常費用	408
経常利益	4,635
特別利益	—
特別損失	36
固定資産処分損	36
税金等調整前当期純利益	4,598
法人税、住民税及び事業税	1,331
法人税等調整額	△52
法人税等合計	1,279
当期純利益	3,319
親会社株主に帰属する当期純利益	3,319

第152期連結株主資本等変動計算書
(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

科 目	株 主 資 本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,000	0	52,379	54,381
当期変動額				
剰余金の配当			△120	△120
親会社株主に帰属する当期純利益			3,319	3,319
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	3,199	3,199
当期末残高	2,000	0	55,579	57,580

科 目	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	9,947	3,055	79	13,082	67,463
当期変動額					
剰余金の配当					△120
親会社株主に帰属する当期純利益					3,319
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	7,646	△18	56	7,683	7,683
当期変動額合計	7,646	△18	56	7,683	10,883
当期末残高	17,593	3,036	135	20,765	78,346

第152期貸借対照表
(2026年3月31日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	83,839
有価証券	148,187
貸出金	639,335
その他資産	4,114
有形固定資産	9,544
無形固定資産	711
前払年金費用	4
支払承諾見返	1,314
貸倒引当金	△3,733
資産の部合計	883,317
負債の部	
預金	743,364
借入金	48,800
その他負債	5,278
賞与引当金	378
役員賞与引当金	54
役員退職慰労引当金	846
偶発損失引当金	349
繰延税金負債	5,370
再評価に係る繰延税金負債	1,348
支払承諾	1,314
負債の部合計	807,105
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	53,917
株主資本合計	55,919
その他有価証券評価差額金	17,256
土地再評価差額金	3,036
評価・換算差額等合計	20,293
純資産の部合計	76,212
負債及び純資産の部合計	883,317

第152期損益計算書
(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	16,314
資金運用収益	13,972
（うち貸出金利息）	10,633
（うち有価証券利息配当金）	2,985
役務取引等収益	1,366
その他業務収益	—
その他経常収益	975
経常費用	11,890
資金調達費用	2,186
（うち預金利息）	2,133
役務取引等費用	1,654
その他業務費用	195
営業経費	7,452
その他経常費用	401
経常利益	4,424
特別利益	—
特別損失	36
固定資産処分損	36
税引前当期純利益	4,387
法人税、住民税及び事業税	1,260
法人税等調整額	△49
法人税等合計	1,210
当期純利益	3,176

第152期株主資本等変動計算書
(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：百万円)										
科 目	株 主 資 本									
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					利益剰余金合計	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
					役員退職積立金	有価証券償却準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	41,808	3,302	50,861	52,862
当期変動額										
剰余金の配当								△120	△120	△120
別途積立金の積立							2,500	△2,500	—	—
当期純利益								3,176	3,176	3,176
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,500	556	3,056	3,056
当期末残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	44,308	3,859	53,917	55,919

科 目	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	9,702	3,055	12,757	65,620
当期変動額				
剰余金の配当				△120
別途積立金の積立				—
当期純利益				3,176
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	7,554	△18	7,535	7,535
当期変動額合計	7,554	△18	7,535	10,592
当期末残高	17,256	3,036	20,293	76,212

株式の状況 (2026年3月31日現在)

- 発行する株式の総数 96,000千株
- 発行済株式の総数 24,000千株
- 株主数 1,434名

大株主の状況 (2026年3月31日現在)

株主の氏名または名称	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
損害保険ジャパン株式会社	2,539	10.58
静岡中央銀行行員持株会	1,618	6.74
東京海上日動火災保険株式会社	1,385	5.77
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	5.00
株式会社大林組	1,200	5.00
野村ホールディングス株式会社	1,200	5.00
三信株式会社	1,200	5.00
オークラヤ住宅株式会社	1,200	5.00
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,148	4.78
東洋電機製造株式会社	1,110	4.62

株式のご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催予定
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

役員の状況 (2026年3月31日現在)

代表取締役会長	清 野 眞 司
代表取締役社長	小 森 博 史
代表取締役専務	林 道 弘
常 務 取 締 役	芦 川 哲 也
常 務 取 締 役	野 中 久 記
常 務 取 締 役	青 島 厚 志
常 務 取 締 役	守 分 宏 一
常 務 取 締 役	浅 賀 友 秋
取 締 役	渡 邊 芳 和
取 締 役	金 子 良 雄
取 締 役	名 波 忠 広
取 締 役	増 田 和 彦
取 締 役	内 海 順 太
取 締 役	平 山 浩 二
取 締 役	森 陽 介
取 締 役	澤 田 武 嗣
取 締 役	小 野 真 良
取締役(社外取締役)	藤 田 燈
常 勤 監 査 役	土 居 敏 彦
常 勤 監 査 役	那 須 田 研 二
監査役(社外監査役)	林 宣 男
監査役(社外監査役)	熱 田 稔 敬

連結子会社の状況 (2026年3月31日現在)

名 称	所在地	主な業務内容	資本金
静岡中央信用保証株式会社	沼津市上土町14番地	信用保証・調査業務	330百万円
岳洋産業株式会社	沼津市大手町4丁目76番地	静岡中央銀行への不動産賃貸及びATM精査業務	10百万円

窓口営業時間 平日9:00~15:00



静岡県

本店営業部 沼津市大手町4丁目76番地 サントムーン柿田川出張所★ (055) 973-5888 駿東郡清水町玉川161番地の2	御殿場支店 御殿場市新橋1917番地の1	焼津支店★ 焼津市本町2丁目1番1号	熱海支店 熱海市銀座町10番23号
沼津北支店 沼津市寿町3番3号	吉原支店 富士市吉原2丁目4番4号	島田支店★ 島田市本通3丁目6番1号	伊東支店 伊東市中央町10番8号
沼津東支店★ 沼津市三枚橋杉崎町426番の2	富士宮支店 富士市宮市ひびろが丘1124番地	浜松北支店★ 浜松市中央区伝馬町313番地の21	稲取支店★ 賀茂郡東伊豆町稲取708番地の1
三島支店★ 三島市本町7番26号	静岡支店 静岡市葵区常盤町2丁目1番地の5	浜松東支店★ 浜松市中央区緑ヶ瀬町1243番地	下田支店 下田市2丁目10番17号
長泉支店 駿東郡長泉町中土狩347-1	マークイズ静岡出張所★ (054) 262-6611 静岡市葵区榎木1026	磐田支店★ 磐田市中泉622番地3	南伊豆出張所★ (0558) 62-0025 賀茂郡南伊豆町下賀茂174番地の1
修善寺支店★ 伊豆市柏久保553番地の1	清水支店★ 静岡市清水区万世町2丁目6番16号		松崎支店★ 賀茂郡松崎町松崎375番地の4

神奈川県

川崎支店★ 川崎市川崎区東田町8番地 (パレール三井ビルディング10F)	香川支店 茅ヶ崎市香川4丁目44番5号	寒川支店 高座郡寒川町倉見482番の3	綾瀬支店 綾瀬市深谷上6丁目16番22号
横浜支店 横浜市磯子区丸山2丁目5番1号	湘南モールフィロ出張所★ (0466) 34-7015 藤沢市辻堂新町4丁目1番1号	座間支店 座間市入谷西2丁目56番8号	番田支店 相模原市中央区上溝367番地の6
中山支店 横浜市緑区青砥町172番地4	小田原支店 小田原市栄町1丁目16番35号	平塚支店 平塚市横内2291番地	厚木支店 海老名市中新田2丁目14番1号
善行支店 藤沢市善行1丁目23番地の4	渋沢支店 秦野市曲松2丁目2番15号	中央林間支店 大和市中央林間3丁目10番10号	ららぽーと海老名出張所 (046) 235-2251 海老名市扇町13番1号

東京都

東京支店★ (03) 5860-1615
港区愛宕1丁目13番4号 (愛宕東洋ビル7F)

住宅ローンセンター

岳麓住宅ローンセンター (055) 962-3300 沼津市大手町4丁目76番地	静岡住宅ローンセンター (054) 262-3232 静岡市葵区榎木1026 (マークイズ静岡出張所内)	遠州住宅ローンセンター (053) 454-6220 浜松市中央区伝馬町313番地の21 (浜松支店内)
湘南住宅ローンセンター (0466) 34-7078 藤沢市辻堂新町4丁目1番1号 (湘南モールフィロ出張所内)	湘南住宅ローンセンター(海老名) (046) 206-6015 海老名市扇町13番1号 (ららぽーと海老名出張所内)	

CSショップの店舗営業時間は平日・土曜日10:00~18:00です。

※サントムーン柿田川出張所・マークイズ静岡出張所・湘南モールフィロ出張所の店舗営業時間は10:00~12:00、13:00~18:00です。

★印がついている店舗は12:00~13:00は窓口営業を休止させていただきます。

“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行

表紙の 写真

2026年カレンダー 富士山フォトコンテスト
最優秀賞「春に包まれた富士山」佐藤 芳輝氏 撮影

桜と富士山の競演、春爛漫。大人しい構図ながら、咲き誇る桜に
囲まれ、どっしりと落ち着いた中央の霊峰富士。一年を通して
観ていても飽きがこない日本情緒豊かな力作です。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを
使用しています。

THE SHIZUOKACHUO BANK,LTD.

■発行 2026年6月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部

〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地

TEL.055-962-6113

■ホームページアドレス

<https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>